



2	水	たいようぐみ・そらぐみ「歌・合奏」撮影日
3	木	豆まき
4	金	たいようぐみ・そらぐみ「劇」撮影日
7	月	給食費振替日(3歳児以上)
14	月	たいようぐみ・そらぐみ動画配信日
16	水	ほしぐみ発表会ごっこ撮影日
17	木	だいちぐみ発表会ごっこ撮影日
21	月	リトミック(3歳児以上)
24	木	誕生会
25	金	ほしぐみ・だいちぐみ動画配信日 避難訓練(通報訓練)



今年はこのほか寒い！  
ランニング、半ズボンで登園していた子も  
流石に、新学期は長袖になっている。  
園庭も霜柱が解けると、ドロドロ  
子ども達は、靴底に泥をつけ  
重くなった靴で、  
寒風の中、風あげならぬ風ひきずり走り  
サッカー、縄跳びと元気いっぱい。  
3日は節分  
5歳まで鬼が怖くて、休む  
と言っていた子が、6歳の今年は  
「やっつけてやる！」と張り切っている。  
明けて4日は立春  
コロナ鬼も退散して、本当に暖かい春が  
早く来て欲しい。

「発表会」

・発表会は中止となりましたが、子ども達は、発表会ごっこを楽しんでいます。3歳児は、合唱や合奏、オペレッタを友だちと一緒にやる事を楽しんでいます。4歳児は、それぞれの演目を行いながらも、友だちと協力し合い行う楽しさや達成感を感じています。5歳児は、子ども達自身が内容や題名を話し合い、作り上げていく楽しみや達成感、仲間との繋がりを感じてくれています。今年も、コロナ感染症の影響でお見せ出来ないのですが、子ども達の演じている様子をYouTube配信致しますので、ご覧ください。なお、日頃からお伝えしていますが、行事の当日のみではなく、そこまでの過程やその後の活動までを園では大切だと考えています。行事は、あくまでも通過点です。  
※コロナ感染の増加に伴い、中止の行事もあります。

今月の予定から

●豆まき&おにぎりデー(3日)  
・駐車場のヒイラギの葉を、ぞうグループの子ども達が採り、イワシの頭で「やいかかし」を作り、保育室前に魔除けとして飾っています。当日は「鬼を切る」の意味を込め、おにぎりを食べて、心の中の鬼を退治します。豆まきは行いますが、誤飲の恐れがあるため豆は食べません。ご家庭でも、「おにはーそと！ふくはーうち！」と豆まきを楽しんで下さい。

●誕生会(25日)

・今月は、パントマイムです。感染予防を考慮し、動画を見て楽しみます。

☆おしらせ

☆保育参観予定日の動画撮影日  
・にじぐみは10日 ・ひかりぐみは15日  
・きりんグループは18日  
\*配信日はクラスよりお知らせします。

☆今年度製作した子ども達の作品を入れて持ち帰る作品袋の代金100円を7日に納入袋で徴収させて頂きます。

☆産休中の小林雪先生が無事出産しましたことをお知らせします。

☆保育補助で開園より勤務していた岩野忠男さんが、一身上の都合で退職になりました。

☆今後の園行事も、コロナの感染状況により変更や中止等もあります事をご承知下さい。

☆R4年度の入園式は

4月2日(土) 9時半〜午前中です。

・新入園児だけで入園式を行う予定です。進級式は行いません。大変申し訳ありませんが、当日の土曜保育は実施致しませんので、ご協力をお願い致します。

「集団より個」



随分昔のことだが、いつも「園長先生！」と抱き着いてきて、私にまとわりついていたA君が、すっかりおとなしくなっていて、私を見ても、蚊の鳴くような小さな声で「コンニチワ」と言ってみる。何故か、悲しくなっていた。園にいた時は集団になじまず、集まりの時は、決まって暴れまわり、みんなでやることを邪魔していたのに、小学校では静かに座っているとのこと。何故か、悲しくなってしまった。▼ル・ボーン著「群生心理―大衆の暴走」で、1国の教育を見れば、その国の運命が予想される、と述べている。急激に変化する世界の中で、今だに暗誦が知力を発達させると信じ込んでいる国がある。知識詰めこみ型、一斉、集団、一方向性の人間を造り、人を平均化し、安定させることがあるが、創造的思考になじまない。現代で、人生を成功させる条件は、判断力、創意、経験、気概などである。これらは教科書の中で学べるものではない。教科書は参考の資料、思考の基礎資料であって、PC、

スマホで何でも即座に調べられる現在、頭に詰め込むのは無用。経験、職業教育こそ重要、そこから自分で考えることこそ、大切であると述べている。▼もう一冊、「発達障害という才能」と言う本では、発達障害者を問題児としてとらえず、前向きに、社会にとつとでも有意義な人としてとらえている。これらの人々は、社会、文化をがらりと変える力を持っている。この力を社会は活かすべき、そして、この障害を持った成功者を紹介している。ASD(自閉症スペクトラム障害)、主に対人関係の障害と特定の事物のこだわりが強い人として、イローンマスク、オードリータンがあげられる。ADHD(注意欠如多動障害)、衝動性、落ち着きがないことが特徴。エジソン、モーツァルト、ピカソがあげられる。日本ではニトリの社長が自ら公表している。そして、ダビンチは両方兼ねている。▼これらの人を生かすためには、周囲に当人の能力を見抜き、適切なサポートをする人と、制約なく活動できる場所が必要である。しきり、世間の空気、集団、規則に強制的に従わせようとする社会(まさに日本)であってはならない。確かに日本人は勤勉、几帳面であり、それが強みでもある。しかし、そこから外れた人を抑圧せず、その過剰な集中力や、発想力を大いに生かすことが大切である。一斉、集団で一緒にやることも大切であるが、集団になじまないからと抑え込んで意欲を押しつぶし、無気力にして、集団に押し込んだことではない。これは発達障害児に限ったことではない。全ての子が、豊かな個性と無限の可能性を持っている。一人一人の子どもの達の、主体性と自主性を尊重しなければならぬ。

理事長 浅田 精利

